

特集

# 人が輝くまちづくり

## ～登別市総合計画・

## 第2期基本計画策定～

まちの将来あるべき姿を実現するための総合的なまちづくりの指針として、平成8年度を初年度とする『登別市総合計画（1996年策定）』を市民の皆さんの参画を得ながら策定し、10年が経過しました。

『総合計画』の根幹となる『基本構想』では、のぼりべつの50年後を想定したあるべきまちの姿を描き、『第1期基本計画』では、基本構想に定める『人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ』を実現するため、平成8年度から10年間に行うべき施策の方向性を示しました。

今号では、第2期目となる平成18年度から平成27年度までの10年間に推進していくべき施策の基本的な方向性を示した『第2期基本計画』を策定しましたので、お知らせします。

### 総合計画



### まちづくりの計画 『総合計画』

総合計画は、まちづくりの方向性を示す大切な計画で、『基本構想』、『基本計画』、『実施計画』からなっています。

『基本構想』は、50年後のあるべきまちの姿やそこに暮らす人々の生活を思い描いたもので、登別市が目指すまちづくりの理念やまちづくりを進める上での4つの視点、5つのテーマを定

めています。

この基本構想を実現するために、10年間に取り組む主要施策について定めたものが『基本計画』で、基本計画に沿って具体的に進める毎年の施策の事務事業をローリングシステム(※)で積み上げて策定する計画が『実施計画』です。

※ローリングシステム：①計画の実行、②分析・評価、③計画の修正・実行というサイクル(循環)を繰り返していく方法。